

令和4年度 加東市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員：5名

2 認知症地域支援推進員の役割

★認知症の相談支援

★認知症の早期発見・早期支援

★認知症の人、その家族の居場所づくり

●認知症カフェ・絆カフェの支援

●若年性認知症の当事者・家族の会の活動支援

★地域における支援体制の強化

●認知症サポーター養成講座

●認知症高齢者の見守り・SOSネットワークの構築

報告者氏名：高濱さおり・羽馬里恵・浅田玲子・西村真希・武田大基

【加東市】 認知症施策全体図

認知症ケアネットと
相談支援体制

○認知症相談センター

認知症の早期発見
・ 早期支援

○物忘れ相談プログラム
○認知症初期集中支援事業

認知症の人とその
家族への支援

○認知症家族介護者のつどい
○物忘れ予防カフェ

地域における支援
体制の強化

○認知症サポーター養成講座
○ひとり外出見守り・SOSネットワーク



【加東市】R4年度認知症地域支援推進員具体的活動報告
テーマ：地域共生社会・認知症バリアフリー実現にむけた取組
～認知症高齢者等の見守り、SOSネットワークの充実について～

表題) 地域高齢者の見守り強化 ～ひとり外出見守り声かけ体験ウォーキングの実施～

1 オリエンテーション(15分)
ウォーキングコースの案内と声かけや対応のポイントを説明



2 声かけウォーキング開始 (1時間)
ウォーキング中に出会った道迷い高齢者役の人に声かけ



3 ゴール・振り返り (20分)
グループごとに声かけ体験の感想、振り返り



参加者の感想

声かけの後、どこまでかかわるかが難しい。



声かけのタイミング、声のトーン、速さが難しい。

高齢者役の感想

- ・やさしく、ゆっくり、親切に、同じ目線で対応してもらえた。
- ・「どうしましょうかね。困りましたね。」
「ここにおってください。電話しますので待ってください。」
などと声をかけられて安心できた。

ひとり外出見守り声かけ体験

ウォーキングの効果と課題

-  「認知症の方への声かけの具体的なポイント」を学び、ひとり外出中の高齢者役に声をかける体験をすることで、日頃からの見守りや声かけが行いやすくなった。
-  より安心・安全にひとり外出ができる環境づくりのために、地域や学校等の様々なところで実施し、多世代による地域の見守りの目を増やすことが課題です。

• 最後に・・・

引き続き、講座や体験イベントの開催により、地域住民の認知症に対する理解への普及啓発を行うとともに、地域のキーパーソンや既存の社会資源を活用しながら、認知症の人やその家族の支援ニーズをつなげるチームオレンジ活動につながる支援に取り組んでいきたい。